

「MM工房スタジオ」リニューアルオープン

6月1日、天野貞祐記念館2階の「MM工房スタジオ」がリニューアルオープンした。簡易に操作できる撮影機材等を導入したことにより、従来は必須だった操作講習会が不要となった。

また、就職活動やインターンシップ等で企業等に提出する動画を撮影するため、一人での利用にも対応した。スタジオ備え付けのスマートフォン専用三脚に、スマートフォンを取り付けて簡単に撮影することができる。専用照明設備を備え、外部の音も入らないため、明るくきれいな映像を静かな環境で集中して撮影することができる。よりきれいに撮影するための小物として、小型レフ板や姿見鏡、ライト付化粧鏡等も備えている。

撮影した動画は、中央棟1階CLEAS(クリアス)内にある「MM工房」のパソコンで編集できる。動画編集ソフトの操作経験が無くとも、CLEASスタッフが編集作業をサポートする。

MM工房スタジオの見学や予約利用に関する相談は、中央棟1階CLEAS受付まで。



CLEAS(クリアス)で朝活 3つの無料講習会が新たにスタート。

中央棟1階の自律学習スペース「CLEAS(クリアス)」では、学部学生が無料で受講できる3つの講習会が新たに始まった。

「PC基本編」では、パソコン操作が苦手な学生でも、タイピング練習やパソコンの基本的な操作方法から学ぶことができる。

「Word基本編」では、レポート作成のための基本的なWord操作方法について、一人ひとりのレベルに合わせた指導を受けることができる。

「Webメール編」では、大学のWebメールの基本的な操作方法や、就職活動等に役立つメールの書き方などを学べる。

時間は原則として平日9:30~12:30のうち30分~1時間程度。定員は1~2名で、CLEASスタッフが個別指導を行う。

この他、従来から実施している「自己紹介動画を作ろう!!動画編集講習会」では、MM工房のマルチメディア対応パソコンを使用して、動画編集、画像編集、音声編集を学ぶことができる。時間は原則として第2・4水曜日の12:40~13:30、先着2名まで。

お問い合わせや申込は中央棟1階CLEAS受付まで。



「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」に 2名合格

文部科学省「官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~」第11期派遣留学生に、河西遥菜さん(独3年)と渡辺舞さん(言3年)が採用された。2名には留学準備金と奨学金(月額)が給付される。

河西さんは、「女性の社会進出」について、ベルリン自由大学で学ぶほか、来年2月には、ドイツ企業でインターンシップも予定している。「世界中の国の男女格差を示す『ジェンダーギャップ指数2018』で日本より上位に位置するドイツ(ドイツ14位、日本110位)、ジェンダーに対する意識や具体的な取り組みなどを調査し、社会に活かすことが目的」と語った。

渡辺さんは、メキシコのグアダラハラ大学で学ぶ。研究テーマは「在日外国人の労働環境の改善」。「フィリピン人の母の親族(フィリピン在住)に日本で働くことを提案したことがある。その時は実現しなかったが、それをきっかけに、外国人労働者の環境を調べるようになり、日本の受け入れ体制等に課題があると感じた」という。留学先には移民問題を抱えるメキシコを選んだ。来年6月からはアメリカの移民保護団体でボランティアも予定している。

弓道部女子 全関東ベスト8、春季トーナメント3位

6月15日から16日にかけて、第49回全関東学生弓道選手権大会が行われ、弓道部の河野彩花さん(言3年)、金子萌七さん(済2年)、野口涼加さん(営3年)が女子団体戦ベスト8に入賞した。また、5月4日に行われた第27回関東学生弓道選手権春季トーナメント大会で、野口茜さん(独3年)、河野彩花さん、野口涼加さんが女子団体戦第3位となった。

弓道部は、昨年良い成績を残せなかったことを反省し、今期は自主稽古の時間を増やしたほか、稽古内容を各自が記録した。こうした取り組みにより、部員の意識が変化。安定した形で矢を射ることができるようになり、的中率が向上したことが今回の好成績につながった。主将の河野さんは「良い成績を残せたことは非常に嬉しいが、さらなる成長が必要と感じている。今後も練習試合などをステップにして、中関東リーグ1部復帰を目指す」と語った。

